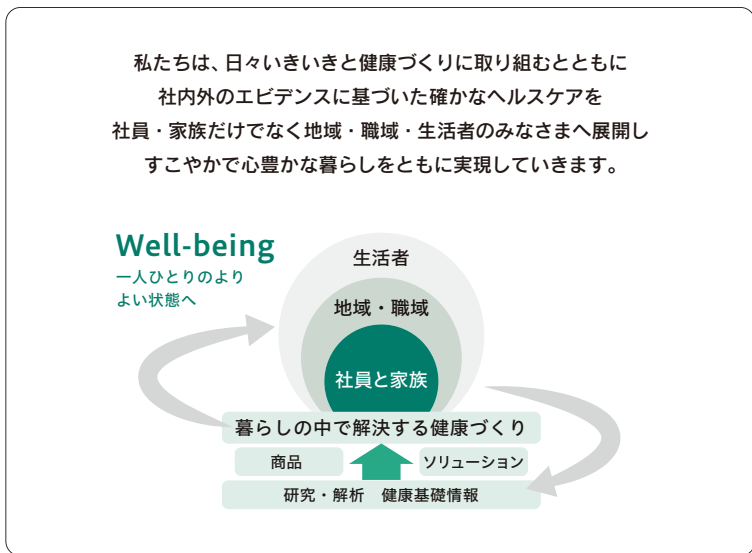


図表 花王グループ健康宣言



AP」を策定し、心とからだの健康に向けた施策や活動を体系的に整理するとともに、その投資がどのように健康指標に寄与するかを可視化する取り組みを進めている。現時点で、多様な健康イベントには年間延べ1万人以上の社員が参加し、社内ウェブアプリの利用率も40%を超えており、結果として、重点指標としている「いきいきと働く社員」の割合は78・8%に達している。このような社員一

人ひとりの変化は着実に組織全体への活力へとつながっている。

「GENKIプロジェクト」による健康ソリューションの展開

当社では、自社の研究成果と実践データなどのエビデンスに基づく健康ソリューションを開発するとともに、それを社内ですべて活用するだけでなく、「GENKIプロジェクト」として広く社外にも展開している。このプロジェクトの特徴は、各種の診断や測定による見える化を実現するとともに、暮らしの中で無理なく改善できるソリューションを提案している点にある。この活動を通じて、「花王グループ健康宣言」で掲げた、健やかで心豊かな生活の実現への貢献を目指している。

具体的には、見える化に関して、内臓脂肪や歩行基礎力測定会などを通じて、生活習慣の改善や運動への動機づけを行っている。また、暮らしの中で無理なく改善できるよう、内臓脂肪をため

にくい食事法「スマート和食[®]」を提唱し、食育セミナーや料理教室、生活改善プログラムを展開している。その結果、直近では、このプログラムにより参加者の88%が内臓脂肪を低減するという成果を上げている。また、加速度センサーを内蔵した歩行計「ホコタッチ[®]」によって、歩行速度や安定

社会全体の健康を目指して

度と測定し、若々しい歩き方を習慣化する健康施策も展開している。

これらのGENKIプロジェクトを通じて蓄積されたデータからは、健康面での効果に加え、健康イベントへの積極的な参加が個人の働きがいやエンゲージメントの向上につながるなど、貴重な知見が得られている。2014年の開始以来、団体・企業への導入件数は130件を超えている。

当社は2022年、世界保健機関(WHO)の世界保健デーに合わせ、4月7日を「花王グループ健康の日」と制定した。そして、日本国内のみならず海外グループ各社にも呼びかけ、各種の健康開発施策や啓発活動を通じて健康づくりの輪を広げている。さらに「健康の日コンソーシアム」を立ち上げ、賛同企業と協働して様々なイベントを開催するとともに、定期的な情報交換を通じて、各社の社員と家族の健康支援の強化を図っている。

これからも花王は、社会の変化を見据えながら、自社のみならず社会全体の健康向上を目指し、企業間連携やプログラム提供を通じて健康支援の輪を広げていく。そして、全ての人が元気に、心豊かに暮らせる社会の実現に向けて、企業の責任としての健康経営をさらに深化させていく。

花王における健康経営の深化と社会への展開

花王社長 長谷部佳宏
はせべ よしひろ



花王グループは、「豊かな共生世界の実現」をパーパスとして掲げ、創造と革新を通じて、人と社会、地球の「きれい」に貢献し、全ての命が調和する心豊かな未来を目指している。その中で、私たちが大切にしているのは、生活者一人ひとりに寄り添い、暮らしをより良くする「よきモノづくり」である。

現在は「グローバル・シャープトップ」という戦略のもと、世界全体を市場と捉え、特定の顧客に高い満足をもたらす価値づくりを進めている。誰が使っても一定の満足を得られる商品から、「この商品があつて本当によかった」と感じていただけるモノづくりや、サービスの質の向上を進めることで、生活者との絆を深め、唯一無二の存在となることを目指している。その原動力となるのは人の力であり、花王は社員活力の最大化を中期経営

計画K27の重点方針の一つに掲げ、様々な施策を展開することで、スピード感を持って、「よきモノづくり」を推進している。

「よきモノづくり」を支える健康経営

社員の心とからだの健康は、この「よきモノづくり」を中心とした事業活動の源泉であり、人財の成長と組織力の最大化につながる最も重要な要素である。花王は「健康経営」を経営の基盤と位置付け、社員とその家族が、あまねく健康支援を受けられる環境を整えている。さらに、健康データの解析やヘルスケア知見をもとに開発した商品・ソリューションを社内施策にも取り入れ、社員と家族が主体的に参画する実践型の健康経営を進めている。その中で、2022年には「花王グループ

健康宣言」を新たに策定し、グループ内の社員・組織の健康だけでなく、社内ですべ事例や知見を積極的に地域・職域・生活者へ展開し、健やかで心豊かな生活の実現を支援する方針を明示した。

組織的・科学的アプローチによる健康開発活動

健康経営の実践に向けて、花王では5年ごとに「健康中期計画」を策定し、全社的に活動を推進している。全国の事業所には健康相談室を設置し、各拠点が互いに連携しながら、独自の課題に応じた産業保健計画を毎年策定している。そのうえで、優れた取り組みはベストプラクティスとして社内表彰し、横展開を図っている。

また、2022年からは「健康経営戦略M